

V850用リアルタイムOS RX850V4 ご使用上のお願い

RX850V4の使用上の注意事項を連絡します。

- 動作状態の周期ハンドラが起動しない問題 (No. 6)
- 可変長メモリプールから正しいメモリブロックを取得できない問題 (No. 7)

注：各注意事項の後ろの番号は、RX850V4の注意事項の通し番号です。

No.1～5の注意事項は以下のURLで参照できます。(7月5日から公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=ZMT-F35-10-0006>

1. 動作状態の周期ハンドラが起動しない問題 (No. 6)

1.1 該当バージョン

RX850V4 V4.30カーネル以前のすべて

(RX850V4 パッケージのバージョンではV4.42以前のすべてが該当します)

1.2 内容

割り込みハンドラから、属性にTA_PHSの指定のない周期ハンドラへ sta_cycサービスコールを発行すると、sta_cycサービスコールの発行対象とは別の周期ハンドラが起動しなくなる場合があります。

注：起動しなくなった周期ハンドラの周期ハンドラ情報を参照すると、

動作状態を示すTCS_STAが表示されます。

なお、周期ハンドラ情報は、ref_cycサービスコールまたはタスクデバッガRD850V4を使用して参照できます。

1.3 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) 属性にTA_PHSの指定のない周期ハンドラ"cyhdrX"が起動状態のときに、OSタイマ処理が発生している。
- (2) (1)のOSタイマ処理中に割り込みハンドラ"inthdrA"から、(1)の"cyhdrX"へsta_cycサービスコールを発行している。

ただし、上記の条件を満たしても、割り込みのタイミングやOS内部のデータ処理状態により、問題が発生しない場合があります。

1.4 回避策

割り込みハンドラから、属性にTA_PHSの指定のない周期ハンドラへ sta_cyc サービスコールを発行しないでください。

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

2. 可変長メモリプールから正しいメモリブロックを取得できない問題 (No. 7)

2.1 該当バージョン

RX850V4 V4.30カーネル 以前のすべて
(RX850V4 パッケージのバージョンではV4.42以前のすべてが該当します)

2.2 内容

get_mplまたはtget_mplサービスコールでメモリブロックの先頭アドレスを正しく取得できない場合があります。

2.3 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) 属性がTA_TPRIである可変長メモリプール"mplX"に対して、
get_mplまたはtget_mplサービスコールを発行するタスクが2つ以上ある。
- (2) (1)のget_mplまたはtget_mplサービスコール処理中に、
割り込みハンドラ"inthdrA"から(1)のタスクのいずれかに対して
chg_pri または ichg_pri サービスコールを発行している。

ただし、上記の条件を満たしても、OS内部のデータ処理状態により、問題が発生しない場合があります。

2.4 回避策

発生条件を満たさないようにコードを変更してください。

2.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

